

インターロッキングブロック舗装 Technical Report － 施工編 － (その23)

Vol.55

1. 薄層ブロック(厚さ 30mm~40mm)の施工方法

薄層ブロック(厚さ 30mm~40mm)の施工方法について以下に示します。

薄層ブロックの施工についての注意点

- (1) モルタル下地による湿式工法です。
- (2) 舗装版のせり上がり(ブローアップ)を防止する伸縮目地を設けます。
- (3) 車輦が乗り入れる箇所は、ブロックの剥離や割れを防ぐためにモルタルに接着剤等を使用します。

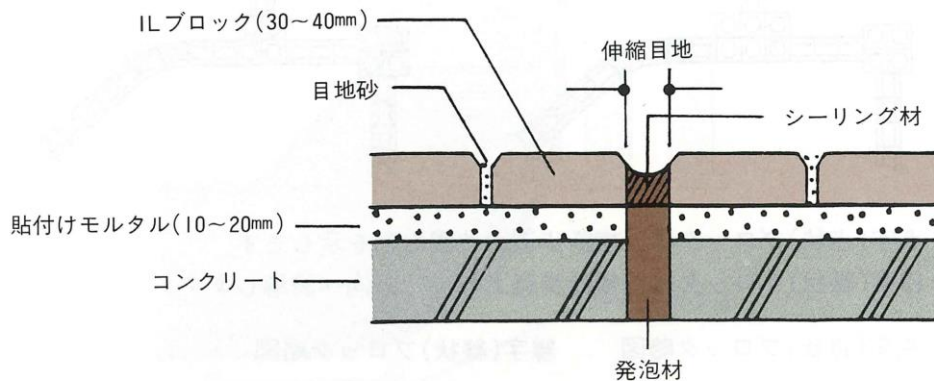
注) 薄層ブロックは橋上、キャブふた内、化粧マス内等に使用されます。

注) 伸縮目地の設計施工上の注意点

- (1) 設置幅は、4~5 m程度です。
- (2) 目地幅は、10~15mmです。

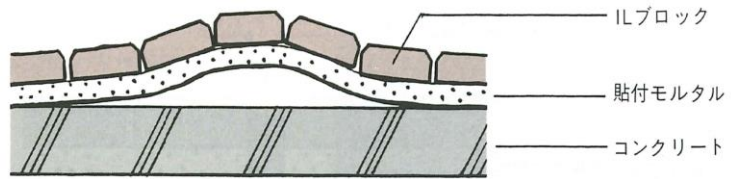
◆用意するもの：ゴムハンマー、目地ゴテ、ハンドミキサ、接着剤

薄層ブロックの構造例



※ベースコンクリート上に、モルタルで接着します。

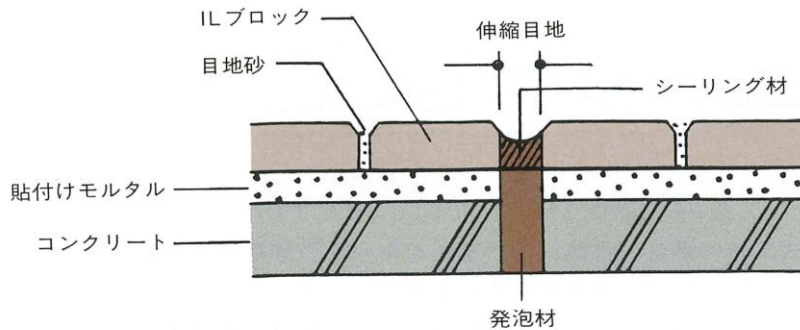
舗装版のせり上がり(ブローアップ)現象



※湿式工法の場合、目地、ひび割れを中心に、部分的に舗装版がせり上がる(ブローアップ)現象が発生します。

※伸縮目地を設けることで、ブローアップの防止になります。

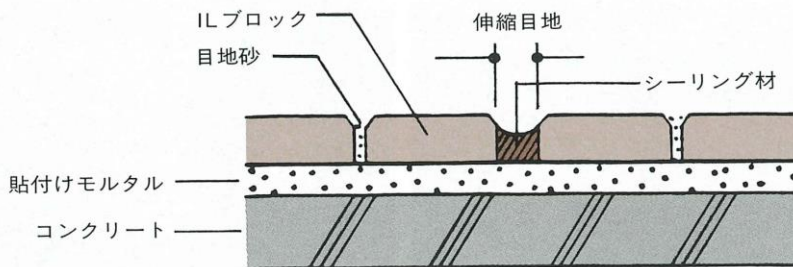
良い構造例



※ベースコンクリートと表層の全断面構造とします。

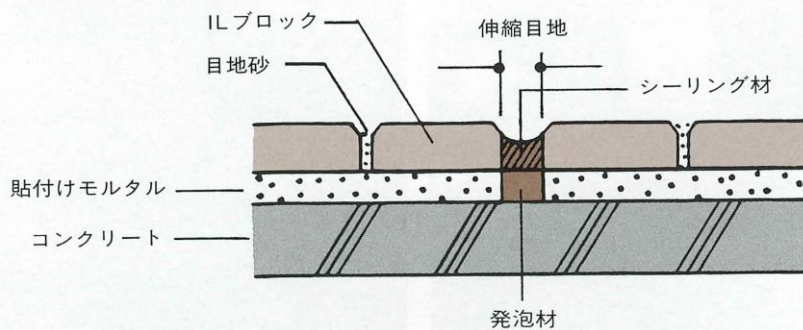
悪い構造例 (1)

伸縮目地は、ブロックまでの処理。



悪い構造例 (2)

伸縮目地は、ブロックと貼付けモルタルまでの処理。



※伸縮目地については、一般に元請け業者が工事を行います。

貼付けモルタルの調合

- ※セメント、砂、接着剤を十分に良く混ぜ合わせます。
- ※使用する接着剤によって、配合が異なります。



貼付けモルタルの施工方法

- ※クッション砂と同様に平坦に敷き均します。



薄層ブロックの敷設

- ※タイルのようにゴムハンマー等でブロックを叩きながら、平坦に仕上げます。



薄層ブロックの施工方法

- (1) 目地詰め作業をします。
- (2) 清掃します。
- (3) 転圧はしません。

以上